



Αγορα アゴラ



1996年 4 月 第69号

鶴見大学図書館報

新入生の皆様へ!!

これからの学生生活で、図書館を利用しない
 なんて大損です。

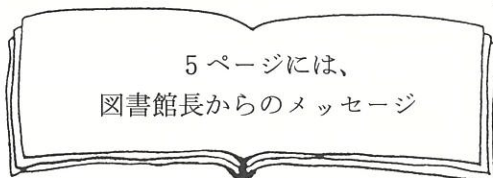
図書館は姿もいいけど 中身も充実しています。

☆利用の第一歩として、「図書館利用カード」を
 受け取ってください。(受け取り方法は、オリエン
 テーションで説明します。)



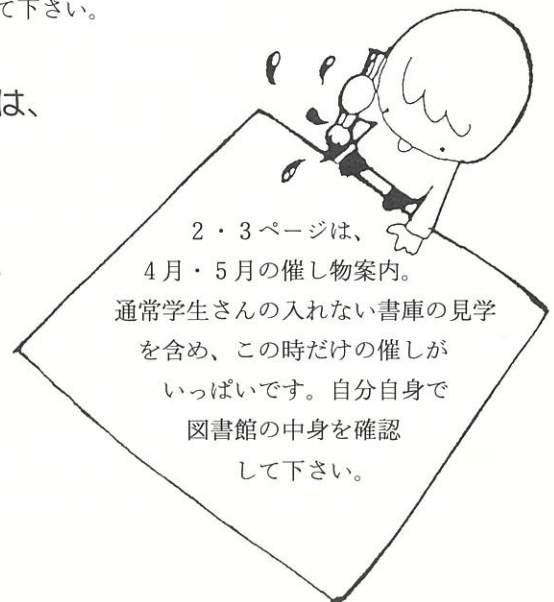
今皆さんが手にしている‘アゴラ’は、図書館を利用するにあたって大切な資料となります。
 年 6回の発行で、発行月は、4月・5月・7月・10月・11月・1月です。
 最終ページの“図書館だより”には、特に注意して下さい。

今回のアゴラは、



5 ページには、
 図書館長からのメッセージ

☆あなた一人が利用者ではありませんから、
 他の人と共有しているという事を忘れずに
 利用しましょう。



2・3 ページは、
 4月・5月の催し物案内。
 通常学生さんの入れない書庫の見学
 を含め、この時だけの催しが
 いっぱいです。自分自身で
 図書館の中身を確認
 して下さい。

4月・5月の図書館の催し物のお知らせ

大学では授業のためだけでなく、レポート提出・演習用にと、図書館を使わなければならないことが多々あります。そのためにも、より上手に図書館を利用できるように今年も特別行事を行います。

新入生はもちろん、在学生も奮って参加して下さい。

ツアーとガイダンスに参加して“図書館の達人”になろう!!

図書館ツアー

4/15(月)		図書館は地下2階・地上3階建ての建物です。
16(火)	*1日2回行います	ツアーでは普段目に触れない地下1階・地下
17(水)	10:40~12:00	2階の書庫、3階の貴重書室を含む全館を案
18(木)	16:20~17:40	内します。また、図書館のいろいろなサービ
19(金)		スについても詳しく説明します。

本の探し方ガイダンス

4/22(月)		この図書館には、現在50万冊の蔵書がありま
23(火)	*1日2回行います	す。このような多くの資料の中から必要なも
24(水)	10:40~12:00	のを探し出すために、目録が重要な役割を果
25(木)	16:20~17:40	たしています。このガイダンスでは目録のし
26(金)		くみと使いかたを中心に説明します。

映 写 会

5/13(月)	スピード	12:30 ~ 14:25
14(火)	キスへのプレリュード	14:40 ~ 16:25
15(水)	アラジン	16:20 ~ 17:55
16(木)	ふたりのロッセ	14:40 ~ 16:20
17(金)	ローマの休日	12:30 ~ 14:30

5月に以下のガイダンスを行う予定です。詳しいことは掲示又は案内でお知らせします。

☆文学関係資料検索

- ・日本文学文献検索ガイダンス
- ・英米文学文献検索ガイダンス

内容

国語・国文学、英米文学・英語学を中心として、研究文献を探すための参考図書(二次資料)の紹介とその使い方の説明をします。またオンラインデータベースについての案内をします。

☆歯学関係資料検索

- ・歯学文献検索
- ・CD-ROM検索

ガイダンス

内容

文献を組織的に効率よく探すために、医学中央雑誌、Index to Dental Literatureなど冊子体の検索誌やそのCD-ROM検索を中心に説明します。

ツアーとガイダンスは自由参加ですので、予約、申し込みの必要はありません。

参加できる日時に、図書館メインカウンターの前に集合して下さい。希望があればこの日程以外でも行いますので、気軽にメインカウンターに声をかけて下さい。

映写会は図書館地下1階にあるAVホールで行います。地下1階への入口は、2階に上がる階段の下にあります。

困った時には

“Lead”



- 図書館の利用方法がわからない
- 見たい本が探せない
- 本が場所がわからない

でも、職員に聞くのは面倒くさい

といった皆さんの悩み(?)を一挙に解決!!

2月より図書館では、利用案内や各サービスを、パソコンの画面でお知らせする図書館案内システム“Lead”を設置しました。

使い方はいたって簡単!タッチパネル方式ですので、自分の知りたい情報の画面を指でタッチするだけでOK。カラー図解入りで案内画面が展開してゆきます。また、利用方法だけでなく、図書館ニュースなどいろいろな最新情報を得ることもできます。

是非一度試しに使ってみてください。

平成8年度「展示」案内

①マザーグースの世界

6月3日(月)～22日(土)

英語圏で伝承されている童謡のことをナーサリ・ライム (nursery rhymes) といったり、マザーグースの唄 (Mother Goose's rhymes)、あるいは単にマザーグースといったりします。ナーサリ・ライムは文字通り「子供部屋のライム (押韻詩)」のことです。マザーグース (お母さんガチョウ) という呼称の由来は1765年に出版されたイギリス伝承童謡集 (51編集成) *Mother Goose's melody* とされていますが、もとはペローの童話集の英訳タイトル *Mother Goose's tales* (1729年) に拠ります。それが漸次伝承童謡の代名詞となりました。現在オックスフォード版童謡集 (1955年) には約800編を集成するに至りました。本展では19世紀から20世紀にかけて英米で出版された児童書、特に絵本を中心にマザーグースの世界を展開させていきます。



②連歌 ―筑波の道―

10月14日(月)～26日(土)

雅称として「筑波の道」と呼ばれた連歌は、和歌を母体として中世に流行発達した詩形式で、近世の俳諧連歌へと移行していきます。後鳥羽院時代から次第に盛んになり、足利義政の東山時代に最盛期を迎えます。その代表者が宗祇です。連歌は、もと掛け合いの文学であり、ルール(式目)に制約された遊びの文学ですが、中世隠者の旅と草庵の孤寂と恋と老年の無常述懐が、中世詩としての特色を示しています。伝宗祇筆の「三島千句」、宗祇名所百韻や伝荒木田守武筆の「老葉」は屈指の伝本ですし、成立年次とほぼ同時代書写と思われる「新撰菟玖波集」や肖柏自筆の「春夢草」原本は迫力をみなぎらせています。また当座の連歌懐紙も臨場感に満ちています。

③ジョンソンとウェブスターの辞書

11月25日(月)～12月14日(土)

17世紀のコドリー (R. Cawdrey) からOEDに至る英語辞書史の途上で最も重要なのはジョンソン (Samuel Johnson, 1709-84) とウェブスター (Noah Webster, 1758-1843) です。貧困と病苦のもと1755年に出版されたジョンソンの *A dictionary of the English language* は、それまでの難解語中心・百科辞典的英語辞書とは全く異質なもので、これによってイギリスの辞書の流れはOEDへと進展していきます。一方ウェブスターはジョンソンの辞書に対してきびしく批判的で、アメリカの辞書の特徴であるアメリカの固有名詞を多く取り入れたり、事物の説明を詳しくしたりして百科辞典の色彩が濃い *An American dictionary of the English language* を1828年に出版しました。そこにはアメリカ人のためのアメリカ人の辞書を作ろうというウェブスターの態度に、独立戦争の武器をペンに代えてあくまでもイギリス人と戦う愛国者の姿が見えます。この相対する辞書の諸版から英語辞書発達史のエッセンスを垣間見たいと思います。

新年度にあたって

図書館長 納富 常天

春は今年も間違いなく到来した。終りは事の始めと云われるように、大学は卒業、そして入学とまことにあわただしい時期である。

2月の始め、前から関係がある京都の出版社から、封書が送られて来た。それは社長からのもので、1枚の前売り券とリーフレットが入っていた。手短に日本書籍出版協会の役員として、展示を担当し、門外不出の貴重な資料も、いくつか出陳することができたから、是非観覧してもらいたいと云う心温まるものだった。

前売り券には「日本出版文化史展 '96京都—百万塔陀羅尼からマルチメディアへ」とあり、日時は2月3日(土)～25日(日)まで、場所は三条高倉の京都文化博物館とあった。また「本の過去・現在そして未来—出版のあるべき姿について—」のシンポジウムや、著名人による5回の講演会なども催すともあった。

すぐにでもと衝動にかられたが、生憎とこの時期は入試その他が立て込んで、思うように動けない。しかし会期が23日間と長期であるから、何とかなるだろうと思ったのが間違いで、結果的にはその期を逸してしまい、社長にも不義理をしてしまった。

ただシンポジウムについては、2月16日の朝日新聞「天声人語」を通して、その一端を知ることができた。それによると、電子メディアの時代に、本、あるいは文字文化は生き延びることができるか：電子読書器が本に取ってかわる：本屋は電器店になってしまうのだろうか：音と映像が伝達の主役になり、文字のなかったころへの回帰ではないかなどとあり、いろいろと考えさせられた。

確かにマルチメディアによる情報流通の進展は、学術研究や教育の高度化を推進するものとして、歓迎しなければなるまいが、「天声人語」の記事からでも、手放しでは喜んでおられない。

「温故知新」という云い旧された言葉があるが、今こそ改めてこの言葉を考えてみる必要が

あるのではなかろうか。図書館の歴史は古い。確かなことはわからないが、奈良時代の石上宅嗣の芸亭院を嚆矢として、平安時代には多くの公家文庫、鎌倉時代には中世都市鎌倉を中心に、金沢文庫などいくつかの武家文庫があったが、いずれも学芸の振興に寄与したことはいうまでもない。

鎌倉時代の東大寺住僧凝然は、日本仏教史上もっとも著書の多い学僧として有名である。現在判明しているものだけでも、182部1200余巻といわれている。これは東大寺・唐招提寺その他の蔵書を、最大限に利用した成果であることは間違いない。弟子の禅爾が執筆にはさぞや心労が多いのではと質問したところ、手紙を書くようなものだと言ったという。

凝然の著書は大著が多いが、6番目に大きい『維摩経疏菴羅記』30巻を例にあげると、1巻平均1万字であるが、これを5日平均で執筆している。これは抜群の記憶力と数多くの本を読破したばかりか、菅原道真もその『書斎記』に「学問の道は抄出(抜き書)を宗となす」といっているように、常日頃から抜き書をしていたからである。これはわれわれに指の皮がむけるほど博く読書すること、重要と思われるものは抜き書(メモ)することを教えてくれる。

学生時代だけが好きな本を自由に読める時である。今こそ学生の特権を行使し、大いに図書館を利用して、深く高く広く豊かな知識を身につけるべきである。

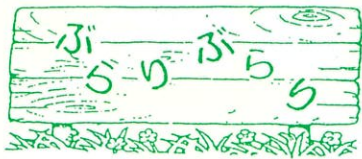
図書館も新学期に備えて、図書館案内システムLeadの設置や、図書検索OPACの充実をはかっているが、大学全体でも前年度設置した学内総合ネットワークシステムの拡充をはかることになっているから、それを通して図書館の利用はさらに至便になることは間違いない。

最後に一言、50万冊の図書と、1万点の雑誌がジーンと諸君の来館を待っている!!

新刊あらかると

最近整理された本の中から読み物的なものを
紹介します。すべての新刊本は、入口正面の
新着図書展示棚に一週間展示されます。

- 速読トレーニング (ブルーバックス) 佐藤泰正著 講談社 1995 (019/S)
- 本と私 四十四人の体験的読書論 三省堂編集部編 三省堂 1994 (019.1/H)
- 「気」で読む中国思想 (講談社現代新書) 池上正治著 講談社 1995 (122/I)
- 青春の夢と遊び (シリーズ生きる) 河合隼雄著 岩波書店 1994 (140.4/K)
- 平安京のゴーストバスター 陰陽師 阿部晴明 志村有弘著 角川書店 1995 (148.6/A)
- 東慶寺と駆込女 (有隣新書) 井上禅定著 有隣堂 1995 (188.85/I)
- 魔女とキリスト教 ヨーロッパ学再考 上山安敏著 人文書院 1993 (230/U)
- 死の舞踏 ヨーロッパ民衆文化の華 (丸善ブックス) 水之江有一著 丸善 1995 (230.4/M)
- ベストの文化誌 ヨーロッパ民衆文化と疫病 (朝日選書) 蔵持不三也著 1995 (234.04/K)
- ヒトラーとユダヤ人 (講談社現代新書) 大澤武男著 講談社 1995 (234.074/O)
- アメリカ南部 (講談社現代新書) J. M. バーダマン著 森本豊富著 講談社 1995 (235.5/V)
- インディオの世界 (ビジュアル博物館) 日本語監修: 川成洋 同朋舎出版 1994 (256/B)
- 南仏プチホテルの旅 浅岡敬史文・写真 東京書籍 1995 (293.509/A)
- 現在の犯罪心理 バラバラ事件からカルト集団の犯罪まで 中村希明著 講談社 1995 (326.34/N)
- 育児で会社を休むような男たち 男も女も育児時間を! 連絡会編 ユック舎 1995 (366.47/I)
- イギリス・妖精めぐり はじめての出会い 井村君江著 同文書院 1993 (388.33/I)
- 人類の起源 (智の再発見双書) エルベール・トマ著 河合雅雄監修 創元社 1995 (469.2/T)
- 植物ことわざ事典 足田輝一編 東京堂出版 1995 (470.4/A)
- 月下美人はなぜ夜咲くのか (岩波科学ライブラリー) 井上健著 岩波書店 1995 (471.3/I)
- 毒薬の誕生 (角川選書) 山崎幹夫著 角川書店 1995 (491.59/Y)
- エイズウイルスとの闘い 岡本尚 畑明 岡田新著 講談社 1995 (491.8/E)
- 歯記列伝 榊原悠紀田郎著 クインテッセンス出版 1995 (D021/S)
- ロケットの昨日・今日・明日 (ポピュラーサイエンス) 的川泰宣著 装華房 1995 (538.68/M)
- 健康美をつくる乳製品 雪印乳業(株)健康生活研究所編 装華房 1995 (648.1/K)
- 美しきもの見し人は (朝日選書) 堀田善衛著 朝日新聞社 1995 (704.9/H)
- マルチメディア美術館 ハイビジョンCGが探る名画の秘密 西岡文彦著 N T T出版 (706.9/N)
- 展覧会うらかたの記 新聞社文化事業・一担当者の30年 立石玄三美著 北辰社 (706.9/T)
- 能に就いて考える十二帖 林望著 森田拾史郎写真 東京書籍 1995 (773/H)
- 北野武VSビートたけし (リュミエール叢書) 阿部嘉昭著 筑摩書房 1994 (778.21/K)
- ハリウッド映画史講義 賢りの歴史のために 蓮實重彦著 筑摩書房 1993 (778.253/H)
- 教養の漢字学 阿辻哲次著 大修館書店 1993 (821.2/A)
- 榊原和夫の現代作家写真館 榊原和夫著 公募ガイド社 1995 (910.268/S)
- 宮沢賢治の謎 (新潮選書) 宗左近著 新潮社 1995 (911.5/M-35/S)
- われらは乱歩探偵団 小野孝二著 勉誠社 1995 (913.6/E-1/O)
- 三島由紀夫の家 篠山紀信撮影 篠田達美文 美術出版社 1995 (913.6/M-59/S)
- シェイクスピアの町 熊井明子・文 久米けんじ・絵 東京書籍 1995 (932.7/K)
- 赤毛のアンの庭で 奥田実紀・文・写真 東京書籍 1995 (A934.0/M-23/O)



横浜駅から市営地下鉄に乗ること15分。歴史と田園と工場の広がる町、私の住む町、「新羽町」を紹介します。読み方は「にっぱちょう」。駅の名前は「にっぱ」です。

ここには、今はバスが走っていますが、江戸時代の街道であった道路があり、この道路沿いにお寺や神社が数多くあります。また石仏、道祖神、庚申塔、馬頭観音などが、道端の祠に大切に祀られています。

工場の探訪はともかくも、梅、椿、桜、桃、梨などの花と木々や畑の緑を楽しみながら、信仰の歴史を歩いてみませんか。

駅を背に西へ向かって2分程歩くと、交通の要所「新羽十字路」があります。この十字路を南北に走る道路が、江戸時代の街道で、南に進路を取ると歴史と田園の両方を楽しむことがで

きます。

まず西方寺、明応4年(1495)新羽に移建とのこと。しばらく歩いて専念寺、ここは慶長6年(1601)に建立とのこと。いずれも歴史の深さに驚かされます。またこの間にも幾つかの道祖神があり、「天文」「天正」「建久」「宝歴」などの文字を三猿などの表情とともに、かすかに読み取ることができます。

その昔、この道をどんな人が歩いていたのか、などと想像するのも楽しいですね。専念寺を出て、大きな温室の花を眺めながら坂道を登ると、やがて果樹や野菜などが栽培されている広々とした高台に行き着くことができます。ここからの新横浜方面の眺望は、神奈川国体に向けてのスタジアムの着々とした建設など、現代の息吹を感じさせてくれます。

歩き疲れて新横浜で新幹線を眺めながら一休みも良し、このコースは如何でしょうか。なお健脚の方には近くに大倉山の梅林もあります。ある日の一日、お楽しみ下さい。

(短大部事務課 Y. S.)

参考係から(7):「本がない！」

目録端末でのヒット件数が0件のとき、探している本は本当に図書館に「ない」のでしょうか。検索語は間違いなく入力されているのでしょうか。検索画面の説明や、端末脇の操作説明シートを読んでみて下さい。書名や書名中の単語、著者名からも検索してみましょう。もし探している本が1989年以前に出版された本ならば、カード目録でも探さなければなりません。目録端末に表示された請求記号の欄に本がないときは、配架場所をよく確かめて下さい。参考図書、文庫本、書庫など、同じ請求記号でも本の種類によって別の場所においてあることもあります。

「本がない！」のは、このように単純な検索ミスや思い違いであることが多いのです。特殊なケースに、正確に目録端末やカード目録を検索しても、図書館にある本を探せない場合があります。今回はこれを紹介します。

“Craniofacial growth series”は、雑誌の特集号のような本でモノグラフィック・シリーズと呼ばれ、その10号の書名は“Craniofacial biology”ですが、シリーズ名からは探せても、書名からは探せません。「顎関節症のすべて」(D538/G)の場合は、雑誌“Dental diamond”の第7巻13号ですが、利用が頻繁なので雑誌名からも書名からも探せるようになっています。また、「和漢比較文学叢書17巻」は「江戸小説と漢文学」(910.8/W/17)という書名で出版され、その中には15本の論文が載っていますが、書名である「江戸小説と漢文学」からは探せても、その中の一論文である濱中修著の「御伽草子と中国説話」からは探せません。

探している「本」が、シリーズや全集の中の著作だったり、本や雑誌の中の一論文である場合は、目録端末やカード目録から探せないこともあります。このようなときに、雑誌論文の索引やCD-ROM検索を行います。これらの検索の詳細はカウンターにお尋ね下さい。

図 書 館 だ よ り

◎図書館カレンダー

4

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

開館時間

平 日 9:00~19:00 (但し、水曜日は9:30開館)

土曜日 9:00~16:00

●=閉館日 □=開館時間短縮日 平 日 9:00~16:30

土曜日 9:00~12:30

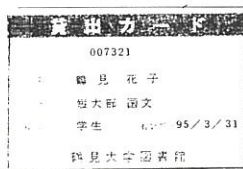
但し、視聴覚室は月~金の10:00~18:30 (4月は15日(月)より開室)

◎“図書館利用カード” 交付手続について

図書館を利用する際は「図書館利用カード」が必要です。図書館利用カード交付手続票に必要事項を記入し、メインカウンターに申し込んで下さい。

図書館システムが新しくなったため、今年度から、従来のカードが使用できなくなります。すでにカードをお持ちの方は、交換して下さい。

カードは在籍期間中有効です。大切に使用し、紛失した場合は直ちに届け出て下さい。なお、再発行は有料で2日間かかります。その間、図書を借りることはできませんのでご注意下さい。



(旧：ピンク)



(新：グリーン)

◎医歯系の辞書類は2階へ

今まで1階のレファレンス・コーナーにありました医歯系の辞書類は、4月より2階へ移動しました。場所は2階に上がって右手、カウンター奥です。分野は、生物学・植物学・動物学・医学・歯学・薬学と日本語・英語・ドイツ語等で、それらの辞書・事典類の他、便覧・名簿・年鑑等を置きました。(NDC:460-499-810-890)

◎OVID版MEDLINE稼働

1月号で紹介しましたように、研究室および図書館2階の各端末機からMEDLINE検索ができるようになりましたので、簡単な操作説明を。

プログラムマネージャからOvid Clientというアイコンを2回それぞれダブルクリックするとデータベース表示へ。データファイルを選んでOKをクリック。次にUser IDとパスワードを入力すれば、あとはもう検索画面です。

アブラ 一鶴見大学図書館報一 第69号 1996年4月1日発行 編集・発行 鶴見大学図書館 納富 常天
〒230 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 ☎ 045-581-1001・FAX 045-584-8197

印刷／朝日オフセット印刷株式会社